



日本技術サービス株式会社

日本技術サービス株式会社は

“水”と“環境”の総合コンサルタントとして、
40年以上の実績と経験を活かして、より良い環境作りをご提案いたします。

日本技術サービス株式会社は、1980年の設立以来、上下水道の計画設計業務を主要な業務とし、良好な水環境の創造に関わり続けてまいりました。

20世紀においては安全な水の安定供給や環境対策、都市の安全といった観点から上下水道施設が構築されてきましたが、21世紀においては持続可能な上下水道施設の再構築や災害対策、さらには施設の効率的な資産運用への対応が急務となっています。

また、21世紀は水の世紀と言われますが世界的な規模では、気候変動や紛争、経済状況の悪化により安全な水が十分に確保できない地域が数多く存在しており、グローバルな観点から事業を推進する必要にも迫られています。

このような課題を解決するために、より高い技術を追求すると同時に、より広範囲の技術に対応する必要があります。当社では、従来からの水に関わる技術をより一層向上させるとともに、これからの課題に挑戦する技術を習得するための技術研鑽により、新しい時代に適応する水環境システムをご提案させていただきます。

日本技術サービス株式会社

代表取締役 内田 浩幸

創造

自然～人～生産ができるコミュニティを創造します。

理念

当社では、21世紀の循環型社会の構築に向けて安全で安定した社会環境を目指し、ライフラインの創造と維持管理により、豊かな未来社会作りに貢献することを基本理念としています。

専門力

長年にわたり培った実績と最新の技術で計画・設計業務ならびに工事監理、施設管理を中心としたトータルサポートにより、地域に適合したより良い生活環境を求め続けます。

マネジメント

当社の独自システムとノウハウは、設計業務を基本として、調査計画から設計・工事監理・施設管理までの幅広いニーズに応えています。



水と人との調和

私たちは、水を通じて
皆様のより良い暮らしを
実現しています。



水コンサルタントの仕事

街、人の未来を創造する

人口の増減、産業の誘致、自然環境の変化など、さまざまな要因によって、街は姿を変えていきます。そして、その時代に必要とされる水インフラの姿も変わっていきます。街全体の未来像が想像されていく中で、知識や技術、アイデアをもとに、将来の水インフラがどうあるべきなのかを多様な視点から検討し、水という側面から街の未来の姿を描いていく。それが水コンサルタントです。



安全・安心できる社会資本の維持

水道や下水道は重要なライフラインの一つです。たえず最善の機能が維持される中で、役に立つものです。それだけに水コンサルタントが果たす社会的な役割は大きく、人々の安全・安心な暮らしを支える仕事といえます。また、近年の重要課題である「災害に強い街づくり」においても、水コンサルタントは不可欠の存在です。さらに災害時においては、被害状況の把握から復旧方法の検討、設計まで、一日も早い復旧に向けて大きく関わっていきます。

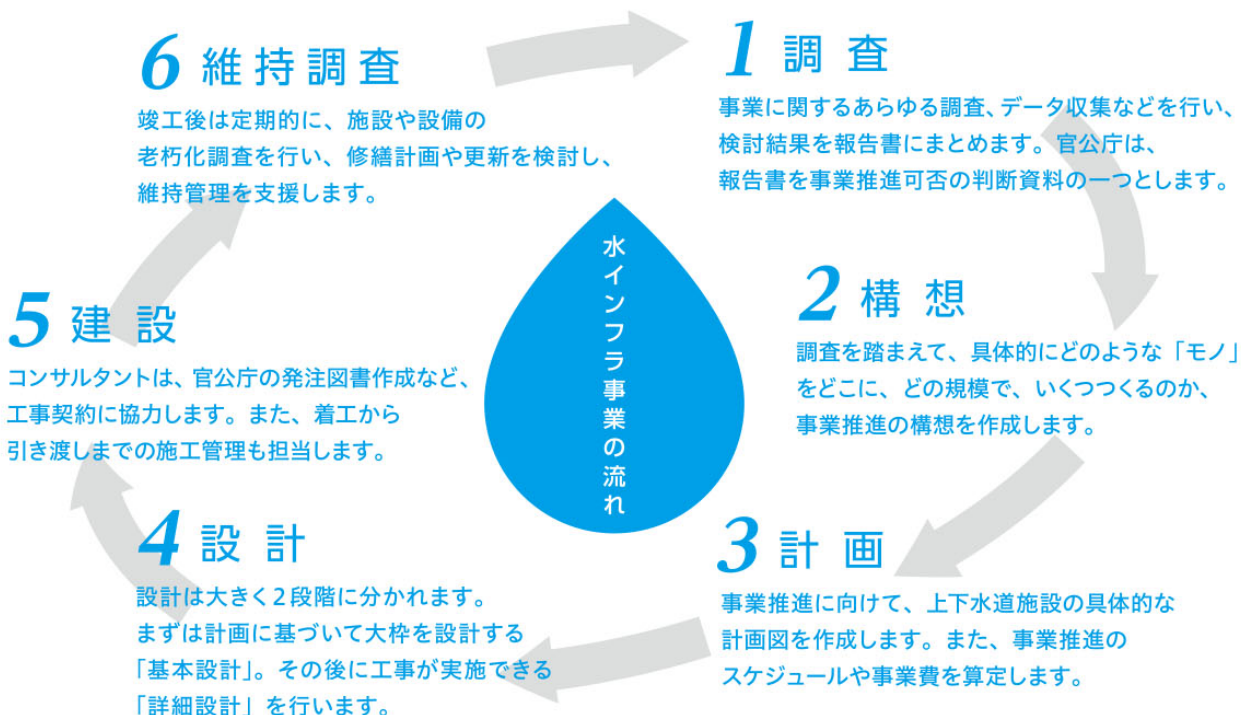


つくり支えていく仕事

水インフラとは、浄水場、配水池、管路、下水処理場、雨水ポンプ場などであり、水道・下水道に関わる全てが水コンサルタントの対象です。また、土木、建築、機械、電気といった幅広い専門分野の技術が集結された知識とアイデアをもって考える仕事です。しかも、正解は一つだけではありません。水コンサルタントの数だけ導き出されるプランがあります。



水コンサルタントは、上下水道事業のあらゆる場面で活躍しています



上水道事業とは

上水道の認可計画から、取水場・浄水場・配水池といった施設の基本・詳細設計、さらには各種申請書作成や工事監理までの業務をトータルに行っています。

近年は老朽化した施設の改築・更新計画や設計、大地震に備えるための耐震診断を行い、水道施設の耐震化率向上に貢献。さらに人口減少による給水収益の減少や、老朽化した施設の更新などによる支出拡大により、厳しい状況にある地域の水道事業を支えるため、広域化計画や経営戦略の策定支援にも取り組んでいます。

新水道ビジョン

新水道ビジョンでは、水道水の安全の確保を「安全」、確実な給水の確保を「強靱」、供給体制の持続性の確保を「持続」と表現し、これらの3つの観点から、50年後、100年後の水道の理想像を具体化するために共通目的を持ちその実現のために施策や工程を提示するものです。

公営企業会計支援業務

水道事業においては、適切な事業計画の立案と実施が必要になります。簡易水道事業を抱える事業者様においては、目的を経営基盤の強化とし、経営・資産の正確な把握を行います。

水安全計画

WHOでは、食品製造分野で確立されている HACCP の考え方を導入し、水源から給水栓に至る各段階で危害評価と危害管理を行い、安全な水の供給を確実にする水道システムを構築する「水安全計画」を提唱しています。

水道アセットマネジメント

長期的な視点に立ち水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営することが必要不可欠であり、これらを組織的に実践する活動がアセットマネジメント（資産管理）です。

水道の経営戦略

各公営企業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である。その中心となる「投資・財政計画」は、施設・設備に関する投資の見通しを試算した計画と、財源の見通しを試算した計画を構成要素とし投資以外の経費も含めた上で、収入と支出が均衡するよう調整した収支計画です。

水道料金改定

水道施設の維持管理および計画的な更新等に必要な財源を、原則として水道料金により確保していく必要がありますが、将来の急激な水道料金の値上げを回避するために、長期的な収支の見通しに基づいて計画的な料金設定を促すことを目的としています。

主な業務実績

| | | |
|-------|---------------|---|
| ・東京都 | ——— 東京都水道局 | 金町浄水場洗浄排水排泥ポンプ井連絡弁取替工事設計委託 |
| ・千葉県 | ——— 北千葉水道企業団 | 遠方監視制御設備木間ヶ瀬等更新に伴う実施設計業務委託 |
| ・埼玉県 | ——— 戸田市 | 西部浄水場配水ポンプ設備更新基本設計業務委託 |
| ・新潟県 | ——— 妙高市 | 志浄水場詳細設計業務委託 |
| ・大阪府 | ——— 大阪広域水道企業団 | 千里浄水池築造工事詳細設計委託 |
| ・兵庫県 | ——— 企業庁 | 播磨科学公園都市上下水道施設基本計画策定業務 |
| ・兵庫県 | ——— 神戸市 | 工水（中部地区）更新工事詳細設計業務（PIP） |
| ・兵庫県 | ——— 西播磨水道企業団 | 坂越水源地高度浄水施設設計業務委託 |
| ・兵庫県 | ——— 西播磨水道企業団 | 水道事業基本計画更新外業務委託 |
| ・兵庫県 | ——— 淡路広域水道企業団 | 施設更新計画業務委託 |
| ・奈良県 | ——— 奈良市企業局 | 水道標準プラットフォームによる各施設遠方監視装置更新工事に伴う設計業務支援委託（CPS 導入） |
| ・和歌山県 | ——— 田辺市 | 田辺市新水道ビジョン等策定業務委託（経営戦略策定、危機管理マニュアル策定（BCP）、水安全計画他） |
| ・徳島県 | ——— 阿南市 | 阿南市水道料金算定業務委託 |

下水道事業とは

下水道が普及していない地域での終末処理場の建設や、下水管を敷設するための基本・詳細設計を一手に行っています。また、近年頻発するゲリラ豪雨から地域住民の生命や暮らしを守る、洪水調整池や排水ポンプ場の設計を実施。さらには閉鎖性水域の水質悪化の原因となる富栄養化対策として、合流式下水道の改善計画・設計にも力を入れています。また、老朽化した施設を効率・効果的に更新するためのストックマネジメント業務や、地方公営企業会計への移行支援業務にも注力。こうした取り組みにより、衛生的な環境づくりや浸水のリスク低減につなげています。

下水道ストックマネジメント

ストックマネジメント（施設資産のマネジメント）とは維持管理から改築更新までのライフサイクルコストの低減や、予防保全型施設管理の導入による安全の確保等の戦略的な維持管理・改築更新を行う必要があります。

このような状況を踏まえ、計画的な維持管理・改築更新に関する短期改築計画（ストックマネジメント手法）を用いて、より効率的な計画が推進されています。

管路施設（污水管・雨水管） 処理施設（水処理施設・汚水処理施設等）

主な業務実績

| | | |
|-------|-------------------|------------------------------------|
| ・東京都 | —— 東京都下水道局 | 南多摩水再生センター設備再構築に伴う施設基本設計委託 |
| ・東京都 | —— 東京都下水道局 | 八王子水再生センター西系水処理施設周辺整備実施設計委託 |
| ・神奈川県 | —— 藤沢市 | 大清水浄化センター長寿命化対象設備改築実施設計委託 |
| ・神奈川県 | —— 川崎市 | 加瀬ポンプ場改築基本計画策定業務委託 |
| ・埼玉県 | —— 荒川左岸北部流域下水道事務所 | 北部流域元荒川中継ポンプ場耐震化設計業務委託 |
| ・埼玉県 | —— 荒川左岸北部流域下水道事務所 | 日進中継1・2・4号汚水ポンプ設備改築設計業務委託 |
| ・千葉県 | —— 千葉市 | 長作ポンプ場外3機械・電気設備改築実施設計業務委託 |
| ・神奈川県 | —— 横浜市 | 樽町ポンプ場第二施設等沈砂池機械電気設備実施設計（詳細設計）業務委託 |
| ・大阪府 | —— 大阪市 | 海老江下水処理場沈砂池設備外設計業務委託 |
| ・兵庫県 | —— 阪神南県民局 | 雨水沈殿池中央監視設備改築設計業務 |
| ・兵庫県 | —— 神戸市 | 東部地区汚水幹枝線改良等設計（その2）【単価契約】 |
| ・兵庫県 | —— 西宮市 | 西宮処理場改築実施設計業務 |
| ・兵庫県 | —— 丹波市 | 公共下水道ストックマネジメント基本計画策定業務 |
| ・和歌山県 | —— 和歌山市 | 北部処理区管渠実施設計業務委託その64 |

その他の公共関連事業

上下水道の設計を行う上で欠かすことのできない測量調査や地質調査を実施。また、インフラ整備に不可欠な道路・橋梁・河川・砂防の設計や、既存設備の改築・更新のための診断業務も手掛けています。上下水道事業だけにとどまることなく、これまで培ってきた技術を活かして、人々の暮らしに直結するインフラ整備事業にも力を注いでいます。



会社名 日本技術サービス株式会社
設立 1980年4月
資本金 10,000,000円
登録 建設コンサルタント 建29第4958号
測量業者登録 建設大臣(6)21952号
一級建築士事務所 第01A02613号
加入協会
(公社)全国上下水道コンサルタント協会
(公社)日本水道協会
(公社)日本下水道協会
全国簡易水道協議会
(一財)漁港漁場漁村総合研究所
(一社)地域環境資源センター
(一社)兵庫県建築士事務所協会
神戸市測量設計協力会
Team E-Kansai

役員 代表取締役 内田 浩幸
専務取締役 鳥井 総司

有資格者 技術士 / 総合技術監理部門：上下水道
技術士 / 上下水道部門：上水道及び工業用水道
技術士 / 上下水道部門：下水道
技術士 / 河川、砂防及び海岸・海洋部門
技術士 / 建設部門：土質及び基礎
技術士 / 建設部門：鋼構造及びコンクリート
技術士 / 農業部門：農村環境
技術士 / 情報工学部門：情報数理
技術士補
一級建築士
二級建築士
建築設備士
RCCM / 上水道部門
RCCM / 下水道部門
RCCM / 土質及び基礎部門
RCCM / 鉄鋼造及びコンクリート部門
土地家屋調査士
測量士
測量士補
一級土木施工管理技士
一級電気施工管理技士
一級管工事施工管理技士
一級造園施工管理技士
農業集落排水設計計画士
下水道1種技術検定
下水道2種技術検定
電気主任技術者(第3種)

営業種目

[設計部門]

- ・ 上水道・簡易水道の計画・設計
- ・ 下水道の計画・設計
(公共下水道・農業集落排水・漁業集落排水)
- ・ 上下水道事業の会計支援業務
- ・ し尿・ごみ処理並びに産業廃棄物の計画・設計
- ・ 農業土木施設の計画・設計
- ・ 環境アセスメント業務
- ・ 耐震診断・劣化診断
- ・ システム開発業務
(施設台帳・構造物自動設計)
- ・ 測量業務
- ・ 地質調査業務

[工事監理部門]

- ・ 重点監理・常駐監理
(土木工事・建築工事・設備工事・管路工事)

[施設管理部門]

- ・ 上下水道の施設管理
(巡回点検・維持管理・水質管理・その他異常チェック等)



日本技術サービス株式会社

本社

〒658-0052

兵庫県神戸市東灘区住吉東町 3-11-2

TEL (078) 841-4585^(代)

FAX (078) 841-3647

東京事務所

〒144-0051

東京都大田区西蒲田 7-43-9 STビル3F

TEL (03) 5480-6398^(代)

FAX (03) 5480-6399

<https://www.nes-solution.co.jp>